

水稲用殺虫殺菌剤

農林水産省登録
第24150号

ビームTMエイト EXツツル

新規殺虫成分イソクラストTM配合

カメムシ類
ウンカ類
に対して
優れた効果

無人
航空機散布、
液剤少量散布でも
使用
できます

クモヘリカメムシ

ミナミアオカメムシ

いもち病

トビイロウンカ

セジロウンカ

ツマグロヨコバイ

ホソハリカメムシ

自然に学び自然を守る



TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社登録商標

IsoclastTM
active

水稲用殺虫殺菌剤

ビームエイト EXゾル

- 1 新規作用性の殺虫成分イソクラスト™配合。
(一般名：スルホキサフロル)
- 2 カメムシ類による斑点米被害の抑制に加え、
ウンカ類やツマグロヨコバイにも高い効果。
- 3 いもち病に高い予防効果。
発病後の蔓延も防止します。
- 4 耐雨性、残効性に優れます。

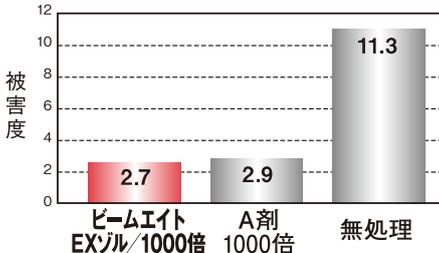
有効成分：スルホキサフロル10.0%、トリシクラゾール8.0%
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スルホキサフロルを含む 農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病、ウンカ類 ツマグロヨコバイ	1000倍	60~150L/10a	収穫 7日前まで	3回以内	散布	3回以内	4回以内 (育苗箱への処理は 1回以内、 本田では3回以内)
	カメムシ類	250倍	25L/10a					
	いもち病、ウンカ類 カメムシ類	8倍	0.8L/10a			無人航空機 による散布		

■穂いもちに対する効果

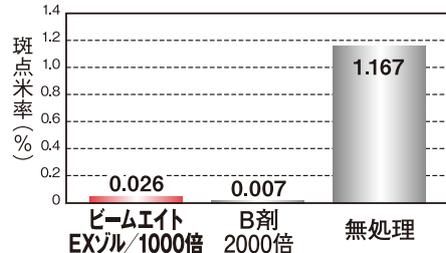
2014年 山形県農業総合研究センター



品 種 ササニシキ 移植：5/14 出穂期：7/31
発生状況 少発生
散 布 7/25(穂孕期)に150L/10a相当量を散布
調査方法 8/29に各区中央部の30株の全穂につ
いて、発病程度別に穂数を調査し、被害
度を算出

■カメムシ類(斑点米)に対する効果

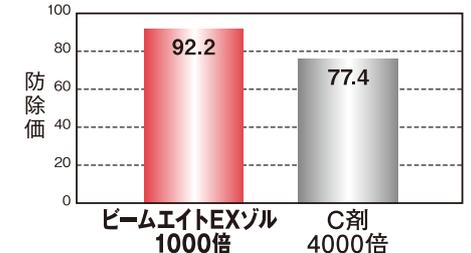
2014年 岩手県農業研究センター



品 種 あきたこまち 移植：5/15 出穂期：7/30
発生状況 アカヒゲホソドリカスミカメ主体 少
散 布 8/7および8/14に150L/10a相当量を
散布
調査方法 9/17に刈取り、乾燥・調整後1.90mm
以上の玄米中の斑点米数を計測

■トビウナカに対する効果

2014年 山口県農林総合技術センター



品 種 ヒノヒカリ 移植：6/20
発生状況 少
散 布 7/25に試験区は200L/10a相当量、
対照区は150L/10a相当量を散布
調査方法 9/2に各区12株について虫数を調査

注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使い切ってください。
- 長時間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
- 散布薬液の飛散によって動植物特に野菜類の幼苗、なし（二十世紀、幸水、新水など）等の農作物の危被害や自動車の塗装などに被害を与えるおそれがある等、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分注意してください。
- 本田の水稲に対して希釈倍数250倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 無人航空機による散布に使用する際は以下のことに注意してください。
 - ・ 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ・ 微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - ・ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管とその他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ・ ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
- 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

本資料は2021年6月末の知見に基づき作成しております。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。● 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

1991 (21-7)